



改正條約實施要項

大隈總裁殿  
法典調査會  
明治三十一年十月四日  
候也  
別冊御參考、爲御送付



改正條約實施要項

秘

秘

昭和三十一年十月四日

限州陸軍部

入部事務課

114  
A 955



二十九年十一月改正條約實施準備委  
 員ヲ被設本員等亦之ヲ委任長ニ承ケ爾  
 未調査ニ從事致シ追々具申致美次第モ有  
 之候処調査ノ事項タル政府及社會ノ別  
 ナク廣ク萬般ノ事ニ涉リ頗ル錯雜極ム  
 ルノミナラス殊ニ事々物々總テ外交上ニ關係  
 ヲ有シ鄭重慎重ヲ要スルヲ以テ一朝一夕ノ  
 能ク結了シ得ヘカラサル事業ナルハ固ヨリ無  
 申迄美得共改正條約實施ノ期ハ既ニ三十二

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

○年七月：迫り僅々十八個月ヲ餘スノミ  
ニ有之萬一該期前ニ於テ準備完カラサルニ  
於テハ國家及社會ノ當然収ムヘキ效果ヲ  
ニテ遺漏ナカラシメンコトヲ期スル能ハサルノミナ  
ラス或ハ外交上危難ノ地位ニ陷ルコトナキヲ  
保シ難ク條約改正ノ事業ヲ擧ケテ畫餅  
ニ歸セシムルコトナキヤト深ク苦慮致テ然ルニ  
準備上調査ヲ要スル事項ハ法令ノ規定ト  
政務ノ整理トニ論ナリ總テ各省所管ノ  
職權ニ屬シ苟クモ準備委員會ニ於テ其當

然ノ職任ヲ踰越スルヲ欲セサル以上ハ各省  
ヨリ案件ヲ提出スルヲ待テ始メテ之カ調査  
ヲ為スノ外ナキ次第ニ有之故ニ豫メ各省  
ニ照會シテ督促ヲ試ミ其得共數件ヲ除  
ク外今ニ至テ提出ノ案件無之斯ノ如ク荏苒  
日月ヲ過去リ候テハ愈ニ實施ノ期ニ至リ果  
シテ準備全キヲ得ヘキヤ否甚ク無覺束儀  
ト存妻別冊條約實施要項ハ委員中特ニ  
平田東助道家齊兩名ニ囑シ凡ソ條約實  
施上法令又ハ政務ノ改定整理ヲ必要ト

認ムルモノヲ算案録ニタルモノニ有之取捨宜キ  
ヲ欠キ漏脱畧ニ過クルハ之ナキニ非サル  
ヘシト虽モ亦以テ準備事項ノ梗概ヲ察  
スルニ補アルヘクト存美議會開會ノ日既  
ニ近ツキ政務正ニ多端ヲ告クルノ折柄ニ柔  
得共條約實施ノ期亦漸ク迫リ最早一日モ  
忽ニスヘカヲサル 秋ニ有之美ニ付テハ此際  
各者ニ於テ特ニ條約實施準備掛ヲ被置凡  
ソ別冊ニ準シ之ヲ取捨補足ニ未ル三十一年  
四月迄ニ案ヲ具シテ準備委員會ニ提

出相成ニ様致度果シテ然ラハ準備上少  
カラサル進歩ヲ得ルニ至ルヘク哉ト存美  
此段及請議矣也

但請議ノ件閣議決定致美上ハ左ノ通  
各才ニ訓示相成ニ様致度此段并セ  
及開申美也

訓令案

條約實施準備為メ法令制定又改  
正ヲ要シ其他行政上處理ヲ要スルモノ  
ハ別紙條約實施要項ニ準シ取捨補足ニ

未ル三十一年四月迄ニ結ソリテ期スル  
見込ヲ以テ緩急ニ從ヒ順次案ヲ具シ  
條約實施準備委員會ニ提出スヘシ

條約實施準備副委員長

明治三十年十二月八日

子爵 田中不二磨

條約實施準備委員長

伯爵 樺山資紀

内閣總理大臣伯爵松方正義殿

4

凡例

- 一 冊中掲載ノ事項ハ主トシテ改正條約實施上ニ  
直接ノ關係アルモノヲ撰ミ其間接ノ關係屬  
スルモノハ之ヲ省ク
- 一 冊中掲載スル事項中其方針ニ關シ既ニ乙  
部委員ト主務者委員トノ協議ヲ經タルモ  
又ハ委員總會ノ決議ヲ經テ内閣ニ具申  
シタルモノアレトモ其ニ未ダ各省ヲ  
案案ニ具  
シテ提出セサルモノハ總テ之ヲ省カス

一冊中掲載ノ事項ハ主管者有リ審議ト準

備委員會ノ決議ト依リ決定スルモノナ

ルヲ以テ終テ疑問ニ止メヨリ

一各省中調査ノ見込リ以テ提出シタル項目ニ

シテ未ダ成案ニ至ラサルモノハ参考ノ為

ノ之ヲ附記ス

ふ

此閣

司法事件  
ニ就テハ司  
法省ニ關係

○外國人官公署ニ提供スル書類法令ノ定

ムル所ニ依テ標示公署スル用文、法定帳簿

ニ關スル用文並ニ官公署ニ對スル用語ハ日

本ノ言語文字ニ依ラシムヘキヤ又ハ各本國ノ文字

言語ニ依ラシムヘキヤ

禁令及其他公衆ニ注意ヲ與フル為メ路傍

及其他ニ標識掲示スル文字ハ歐文ヲ係記ス

ルコトニ一定スルノ必要アリヤ否ヤ

左 上

○外國人官公署ニ提出スル書類ニ捺印シ

要セシメ又外國人民事契約書ハ捺印ノ有  
無ニ由テ証拠力ノ輕重ヲ差別スヘキヤ否ヤ

大藏省司  
法省及  
他省ニ關係

○明治十七年布告第十一號證券印稅規則同  
二十一年勅令第六十六號登記印紙規則及同二  
十四年勅令第二百四十五號登記印紙ヲ以テ  
手数料納付ノ件ニ依リ外國人ノ貼用スル  
印紙ハ内國人ト同様ノ消印ヲ要スルヤ  
否ヤ

外務省

○改正條約殊ニ領事職務條約施行ノ後各國領  
事ヨリ我カ地方官ニ發スル往復公文ハ日本文ヲ  
用ヒシムルコトヲ得ルヤ

陸海軍有  
ニ關係

○日独條約第三條ノ軍事上ノ賦課及日佛條約第三條  
ノ一切ノ臨時取立金ハ軍事上ノ徵稅ヲ包含スルヤ  
否ヤ若シ包含スルトセハ現行徵稅令ヲ改正スルノ必要  
ナキヤ

○日独條約ニ文第四條既得權ニ關シ解釈上豫メ  
其範圍ヲ定ムル必要ナキカ



○日露條約議定書第四十條及商業上ノ所有權ノ保護トハ條約第六條專賣特許商標及意匠ノ保護ヲ謂フ但右議定書ニ依リ條約實施前工業上及商業上ノ所有權保護ニ關スル約是ヲ締結セサルヘカラス

○明治二十九年法律第七十号ノ移民保護法中外國人又ハ外國人ノ社員若シテ株主トスル商事會社ニ移民取扱人タルヲ禁シル規程ハ之ヲ改正セサルモ條約上別ニ差支ナキヤ

内務省  
關係

○日露條約第四條第四項ニ「單ニ持主或ハ代理人トアリテ船

長ノ字ナキモ第六項ニ「船長ノ字アリ然レトモ第四項ノ代理人ノ船舶持主ニ於テ特ニ定メタル代理人外船長ヲモ包含スルヤ否ヤ

○慶應三年十月協定江戸横濱間引船荷物運送船並ニ外國人ノ乗合船規則ハ別ニ協定ヲ要セスレテ改正條約實施ニ因リ消滅スヘキモノナリヤ

○日露及日白領事職務條約上帝國領事ノ職權ニ關スル事項ニシテ日本帝國領事規則中相當規定ニ及抵触スル在ノ件々ニ關シ該規則ニ改正ヲ加ヘサルモ差支ナキヤ  
一、在外臣民ノ單独法律行為遺言及諸般ノ契

約登録証明ノ件(日独第十條、日白第十五條)

二、在外臣民ノ後見人及保護人ヲ命シ及其任務施行監督ノ件(日独第十三條)

三、在外臣民ノ遺產管理ニ関スル法律上相續人ノ代理權(日独第十四條)

四、帝國商船内ニ於ケル強制處分立會ノ件(日独第十五條第二項)

五、帝國海負ノ証言又ハ陳述ニ立會ノ件(日独第十五條第三項)

六、帝國商船内ニ於ケル船員間ニ起リタル紛議ノ仲

裁處理及船員引致留置ノ照會ヲ為ス件(日

独第十六條、日白第十一條)

七、帝國船艀ノ損害事件ニ関スル領事ノ裁決權(日独第十八條、日白第十三條)

内務省

○外国宗教ニシテ堂宇ヲ設立シ公然信徒ヲ結集スル者及屋外ニ於テ公衆ヲ集メ說法ヲ為ス者等ニ對シ相當ノ取締法ヲ設クルノ必要ナキヤ

○外国人ニシテ市町村ニ住居ヲ有スルトキハ市制第六條町村制第六條ノ住民ト看做スヘキヤ只其各條中及郡制等ニ規定セル人口ノ中ニ算入スヘキモノナルヲ果シテ住民ト看做スヘキハ公共ノ營造物及市町村有財産共有及使用ノ權利ニ相當ノ制限ヲ

付スルノ必要ナキヤ

○警察上戸口調査ハ従来地方限り便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ施行スルモ外国人雜居ノ後ハ従来ノ如ク自由ニ人ノ住居ニ立入り難キカ故ニ一定ノ規則ヲ設クル必要ナキヤ

○地方警察規則殊ニ營業取締ニ関スル規則各地方ニ流シ同ノ事項ニ関スル規程ニシテ地方ニ由リ甚ニキ差異アリ例ハ免許願屆期限、營業者ノ資格條件、公安及公衆衛生ノ為メ營業用建物、構造及隣ノ距離ニ関スル制限

十

演劇歌舞等ニ関スル營業及時間ノ制限等ノ如キ各地方其規程ヲ異ニス此レ唯ニ營業者ノ不便ニナラス同一所為ニシテ甲地ハ犯則ト認メ乙地ハ犯則ト認メサルカ如キ大不同ヲ生ス依テ各地方ニ通スヘキ事項ハ一般ノ法規ヲ設ケ各地特殊ニ屬スヘキ事項ハ一定ノ標準ヲ訓示スル等畫ニ執カシムルノ必要ナキヤ

○藥材、制表藥、食物若ハ飲料ノ輸入ニシテ或ル場合ニ一時之ヲ禁スルノ外常時禁止ヲ要スルモノアルヤ否ヤ

○天災事変(軍事、関係ヲ除ク)殊ニ水火災ニ際シ生命財産保護ノ為メ人ノ行為ヲ制止シ若クハ物件ヲ破壊又ハ使用スル等警察上非常強制権ニ関シ特別警察法ヲ制定スルノ必要ナキヤ

○明治十二年七月第二十九号布告檢疫停船規則ハ同年八月第三十三号布告ニ依リ停止セラレタルモ条約実施ノ後ハ其停止ヲ解キ適當ノ改正ヲ加ヘテ実施スルノ必要ナキヤ

○外国ノ乞食浮浪及不良ノ徒ニ對シ国境外ニ退去ヲ命ジ及ヒ其他ノ處分ニ関シテ新ニ相當ノ取締

法ヲ設クルノ必要ナキヤ

○外国ノ軍事探偵等取締ニ関シ相當ノ規定ヲ定ムルノ必要ナキヤ

○外国人ノ未決既決囚徒取扱上現行監獄則及囚人護送ノ手續ヲ改正シ特例ヲ設クルノ必要ナキヤ

○外国人ノ刑事被告人ヲ逮捕シ及未決檻ニ送致前留置護送ノ取扱上特例ヲ設クルノ必要ナキヤ  
○明治九年第三十号布告外国船乗込規則ハ外国人ニモ適用スヘキモノナルヤ若シ適用スヘキモノトス

外務大臣  
信三閣係

レ其帝國版圖ニ到來上陸スルトキノ取締方ヲ  
設クルノ必要ナキヤ

○日佛條約第十五條郵便事務ヲ取扱フ外國船舶ニ  
對シ檢疫ニ關スル規則ヲ適用シテ停船ヲ命シ  
出入進退ヲ制限シ若シ稅關法第十三條ニ依リ出港  
ヲ止ムルヲ得ルヤ否ヤ又一般ノ船舶ニ關シ港則等  
ヲ制定スルニ際シ罰金及船舶負擔ニ係ル特別費用  
ノ不納等或ル必要ノ為メ郵船ノ出港ヲ止ムル  
コトヲ規定シ得ルヤ否ヤ

明治三年二月二十九日布告中不附港場取締方

ハ之ヲ廢止シ更ニ稅關法ニ本キ内外國船ニ通シ  
テ適用スヘキ完全ノ取締方ヲ設クルノ必要ナキ  
ヤ

○外國難破船改正條約ニ依リ内國難破船ト均シ救  
助ヲ為サル可カラサルヲ以テ明治八年第六十六号  
布告内國船難破及漂流物取扱規則ヲ改正シテ  
外國船ニモ適用シ又三年二月二十九日布告  
中外國船難破救助ニ關スル規定及四年四月二十  
二日布告外國船漂着ノ節取扱方ヲ廢止スヘキヤ  
(朝鮮國難破船救助方ニ付テハ特別ノ規程及約  
定アリ)又本國政府ニテ救助費用償還ニ關スル約定ハ

英米兩國及朝鮮  
國トモ之アリ

○清國難破船救助ニ付テハ他ノ締盟國船舶ト同様ノ  
取扱ヲ為スヘキヤ又ハ特別ノ規定ヲ以テ取扱ヲ  
為スヘキヤ

○日英條約第廿二条日米條約第廿二条ニ依ルトキハ英  
米難破船ノ負擔スル費用ハ總テ内國難破船ノ負  
擔ト均ニナルヘク其負擔ノ範圍ハ内國難破船ニ關  
スル規定ニ由ルヲ當然トス然ルニ我ト英米兩國ノ間  
ニ別ニ締約シタル難破船費償還約定  
アリテ其各政府償還ノ費目ヲ列

記セリ右ハ英米新條約ニ依リ共ニ消滅スルヤ  
否ヤ若シ消滅セストセハ其關係ハ如何ニ之ヲ定  
ムルヤ

○慶應三年協定ノ橫濱外國人居留地取締規  
則第廿七条ニ依リ各國領事ノ承諾ヲ經テ制定スル  
爆発物貯庫規則及揮發物貯庫規則ハ改正條約  
ニ依リ消滅シ該貯庫ハ更ニ日獨條約四月四日  
付公文第ニ依リ通商ノ為メ之ヲ保存スル義  
務ヲ生スルヤ否ヤ

○現行行旅病者死者ニ關スル規程ヲ改正シ特ニ

外国人ノ死者ニ對スル取扱方殊ニ所持品處分ヲ  
定メ且ツ該死者埋葬費及其行旅病者救助費ノ  
如キ辨償ノ資力ナキ公ハ之ヲ國庫ノ負擔ト為  
シ又該病者賄料ニ付特例ヲ設クル等内國人ト  
取扱方ヲ異ニスルノ必要ナキヤ

○内国法令ヲ外国人ニ適用スルニ際シ豫メ注意ヲ  
與フル所ナクニテ遽ニ之ヲ遵行セシムルニ於テハ種  
々ノ不便ヲ生スヘキヲ以テ改正條約實施ノ際差掛リ  
外国人ニ於テ遵行スヘキ法令例ハ營業規則又  
ハ各種課税法ニ依リ免許等ヲ要スル營業ニ

付テハ其願届手續条條及其期日、課税物件ノ  
届出ヲ要スルモノニ付テハ届出期日及其手續方式ヲ  
明記シ又兩者トモ制數アルモノハ之ヲ台記スル等其  
遵行ニ関スル心得書ヲ作り觀付若ハ公告等ノ  
方法ニ依リ地方官ヲシテ注意セシムルノ必要ナ  
キヤ

○外国ノ商業者工業者若ハ其派出員等見本品  
ヲ推當シ注文引受ノ為ニ入国スル旅行商ニ関シ身  
分証明書旅行營業鑑別營業稅ノ賦課營業  
行爲ノ制限等ニ関シ新ニ規程ヲ設クル必要ナキ



ヤ

○明治十七年第二十五号布達墓地及埋葬取締規則  
第一条墓地ノ制限第三条埋葬時間ノ制限第五条  
埋葬ニ関スル區長ノ認許第六条葬儀執行所ノ制  
限等ハ日獨條約第一条第五項ノ規程ニ抵觸セサ  
ルヤ否ヤ但シ該令抵觸スル所ナシトスルモ之ヲ外國  
人ニ適用スルニ何等改正ヲ要スルモノナキヤ

○居留地永代借地(日獨條約第一条及第十八条四項)及其他政府ヨリ居留地  
公共用ノ為ニ貸付シ永代使用ヲ許シタル借地(同上末項)  
収用ノ手續ニ関シ現行土地收用法ヲ改正スルノ

必要ナキ乎

○日獨條約第十四條第二項ノ地方官廳ハ  
浦役場ヲ包含スルハ勿論ナルヘキモ外國領事ニ  
通知スル場合ニ監督官廳ヲ經由スルヲ要ス  
ルヤ否ヤ

○外國人居留地ヲ市區ニ編入ノ手續ハ市町村制  
ニ依ルヘキモノナルヤ又ハ別ニ法律ヲ以テ規定スヘキモノ  
ナルヤ

○外國人居留地ニ屬スル財産ノ引渡ヲ受クル當  
該官廳ハ府縣知事又ハ市町ナルヤヲ指定シ

且ツ右財産引受手續等ヲ規定スルノ必要ナ  
キヤ

○改正條約ノ擔保ヲ受クル永代借地權及其  
擔保ヲ受ケサル諸借地權ヲ整理スルハ如何ナ  
ル方法ニ依ルヘキヤ

○官有地ニ設定シタル永代借地ノ地籍簿ハ從  
來ノ如ク之ヲ存置シ且ツ其取扱方ニ關シ新ニ  
相当ノ規定ヲ設クルノ必要ナキヤ

○外國種ノ迷犬保護ニ關シ各國領事ノ提  
議ニ依リ明治十一年中約定シタル横濱居留

地獸欄規則ハ改正條約實施ノ日ヨリ廢止  
シ而シテ該獸欄ノ存廢ハ一々我カ政府ノ任  
意ニ依リ各國領事ノ干渉ヲ容ルヘキモノニ  
非サルヤ若シ敬言察上ノ都合ニ依リ之ヲ存スル  
ニ於テハ其維持費用ハ從來ノ如ク國庫ノ負  
擔ト為スヤ否ヤ

○明治十年布告第七号賣藥規則ハ内國ニ於  
テ製スル賣藥ニ關スル規定ニ止マルヲ以テ外  
國ヨリ輸入スル賣藥ニ關シ法律上賣藥堂  
業者ト同一ノ義務ヲ負擔スル者ヲ定ムル等

相當ノ規程ヲ設クルノ必要ナキヤ

○明治十六年布告第三十五号醫師免許規則ハ  
外國人ニモ之ヲ適用シ内國人ト同様ノ試験ヲ  
為シタル後其開業ヲ認許シ條約實施以前  
既ニ開業セル外國人ニ付テハ試験ヲ要セスシ  
テ更ニ認許ヲ与ヘ又該規則第四條ノ特典ハ  
之ヲ廢止スヘキヤ

○產婆ノ開業ニ付テハ新ニ定メ取締法ヲ設ケ  
外國人ニシテ新ニ開業セントスル者及從來開  
業セル者ニ付テハ前項醫師ノ例ニ依リ認許

ヲ與フヘキヤ

○明治二十二年法律第十号藥品營業並藥  
品取扱規則中藥劑師ニ關スル規程ハ外國  
人ニモ之ヲ其ノ新ニ免狀ヲ得ントスル者ハ定規ノ  
試験ヲ受ケシメ又從來ノ營業者ハ本國ノ免  
狀ヲ有スル者ニ限り更ニ從來ノ營業所々在地  
ニ於ケル限地的免狀ヲ與フヘキヤ

○明治五年布告第二十八号銃砲取扱規則  
及同十七年布告第三十号火藥取扱規則  
ハ之ヲ改正シテ外國人ニモ適用シ外商中從來

居留地ニ於テ營業スル者ハ更ニ之ヲ認許シ且ツ外國ヨリ輸入スル銃砲火藥ニ関シテハ相當ノ取締ヲ為スヘキヤ

○慈善院及病院ノ設立維持及其監督方ニ関シ外國人ニ對シ内國人ト同一ノ取締ヲ為スカタメ一定ノ規則ヲ設クルノ必要ナキヤ

○人民ヨリ直接敬言察署及市町村役場等ニ提出スル諸願届書類ノ方式手續等ハ成ルハク之ヲ簡略トシ煩雜ヲ避ケシムルノ必要ナキヤ

内務省提出調査項目

- 一、居留地永代借地権等ニ関スル件
- 一、居留地ニ於ケル國庫支辨ノ土木工事ニ関スル件
- 一、居留地外人地方行政費負擔ニ関スル件
- 一、居留地敬言察費ニ関スル件
- 一、邦人ノ讓受ケタル官有地永代借地権ノ整理ニ関スル件
- 一、居留地ニ於ケル外人管理ニ係ル公共事業ニ関スル件

一、居留地内外人ニ對スル警察權ノ施行ニ關スル件

一、居留地内外ニ於ケル彼我共同管理ニ係ル諸種財産、營造物ノ整理ニ關スル件

一、居留地内ニ於ケル消防組ト消防組ニ關スル

現行勅令トノ關係及其整理ノ件

一、官有地永借權ニ關シ官有財産管理法

ニ於テ改正修補スヘキ規程ノ件

○二、居留地内ニ於ケル地方衛生ニ關スル件

大藏省

○農工銀行勸業銀行臺灣銀行ハ外國人ノ株券取得ニ關シ更ニ制限セサルヤ其株式取得ノ數投票權及重役ト為ルノ權利等ヲ制限スル必要ナ

キヤ

○外國人ノ内國商事株式會社株券ノ取得ハ改正條約ニ於テ担保セラレタルモノナルヤ若シ擔保シタル

モノトスルトキハ内國法律中特ニ外國人ニ株主タルヲ禁スル條項、之ヲ廢シ會社總株式中外國人ノ取得スルヲ得キ株數ヲ限定シ又ハ株主タル外國人ノ投票權及

重役トナル權利ヲ制限スル等ノ方法ヲ設クル必要ナキ  
ヤ、但シ現行法律中外國人ニ株主タルヲ禁スルモノ尤ノ如シ

一、國立銀行條例第一條 七年布告第百六号

一、日本銀行條例第五條 十五年布告第三十二号

一、横濱正金銀行條例第五條 二十年勅令第百二十九号

○輸出品、現行條約ノ規定ニ依リ海關稅ヲ課スルヲ以テ  
現行條約ノ廢止ト共ニ切無稅ト為ルヘシ因テ新條約  
實施後輸出品申課稅ノ必要アルモニ限リ新ニ法律ヲ  
設クル必要ナキヤ

○日獨條約第十三條第二項ノ場合ニ入港出港ノ手數  
料ヲ各港毎ニ徵收スヘキヤ否ニ関シ稅關規則ニ於テ

新ニ規程ヲ設クル必要ナキヤ

○稅關規則第五十四條、露領樺太島貿易ニ關ス  
ル船舶ノ特典ハ該規則改正ノ際猶ホ之ヲ存置  
シテ外國船舶ニモ適用スヘキヤ否ヤ

○日獨條約第七條第一項外國船ガ避難ノ為ノ進  
入シテ、ル海港ニシテ不閉港場ナルト其積荷一部  
ヲ賣却スル場合及第六項外國難波船ヨリ救揚  
ケタル貨物及商品ヲ消費ノ為ノ通關手續ヲ為  
ス場合ハ條約上其所在地ニ於テ之ヲ為サシメサルハカラサレ  
ヤ若シ然リトセハ稅關規則中此場合ニ要スル一切ノ手

続ヲ規定スル必要ナキヤ

外務關係

○日英追加條約第二條ノ換算法及同附屬稅目中銀圓ノ項又ハ日獨條約議定書中銀貨本位云々ノ項ハ亦我カ幣制改革ノ為メ自然ニ変更セラルルモノニシテ別ニ協定ヲ要セサルヤ

○徵稅上納稅者ノ家宅ノ立入及帳簿書類等ノ實檢ニ關スル規定ヲ設クルノ必要ナキヤ

○外國人ニ課稅ノ際公法上免稅ノ特權ヲ有スル者(例ハ外國公使館員及領事館員如シ)ト然ラサルモノトヲ區別シテ豫メ當局者ニ訓示シ置クノ必要ナキヤ

○外國人ノ永代借地權(登記法改定ノ際其登記ヲ要スルモノト規定スルトキハ)並ニ地上權物權ノ性質ヲ附スル土地ノ賃借權ニ關シテ登記スル場合ニ登記稅法第二條ヲ適用シテ登録稅ヲ賦課スルヲ得ルヤ

○株式組織私立銀行ニシテ其定款ヲ以テ資本分クテ外國人ニ讓渡スコトヲ禁ズルモノアルヤ若シ之アリトスレバ條約上若クヤナキヤ

○外國人ニ該稅法ヲ適用スルニ際シ成ル

可、徵稅手續ヲ簡便ニシ且過誤ヲ防、為ニ豫メ注意ヲ施ス等ノ方法ヲ設クハ必要ナキヤ

大藏省提出調査項目

- 一、稅關法改正ノ件
- 一、入港出港手續料改正及噸稅法燈稅法設定ノ件
- 一、關稅監視區域法令設定ノ件
- 一、沿海貿易法設定ノ件
- 一、關稅特別訴訟法設定ノ件
- 一、輸入酒取締法設定ノ件
- 一、外國人ノ住所又ハ定期ノ滞在者ニ所得稅ヲ課ス、キヲ以テ同法改正ノ件



一、間接國稅規則者處分法等稅法中改正ノ件

一、開港ニ關スル制度ヲ一定スル為メ特別輸  
出港規則廢止ノ件

一、稅關鑑定官吏養成ノ件

一、內國稅務官吏ヲシテ外國語ヲ講習セシムル  
ノ件

一、關稅及內國稅務官吏ノ地位ヲ高カシムル  
ノ件

一、同官吏服制一定ノ件

一、稅關巡邏船設置ノ件

一、稅關巡邏船ヲ武裝セシムルノ法令設定  
ノ件

内務、大藏  
農商務、逓  
信、關係

司法省

○我民法ニ依リ之ヲ謂フトキハ外國人カ我國  
 法ニ從ヒ設立シタル商事會社其他ノ法人ハ  
 内國人ノ設立シタル法人ト均ニク内國ノ法  
 人トナルヲ以テ土地所有權及其他ノ私權ニ  
 之テ法律上帝國臣民ニ非カレハ享有ヲ許サ  
 サルモト虽モ別ニ明文ヲ待タヌ當然之ヲ  
 享有ニ得ルカ如シ果テ然ラハ或ル權利ニ関  
 シ特ニ之ヲ禁スルノ必要ナキヤ

○内國法ニ從ヒ設立シタル商事會社ニ外國

全上

人カ社員トシテ加入スル場合ニ土地所有權ヲ取得スルヲ妨ケザルハ日獨條約公文ノ認ムル所ナリモ其他帝國臣民ニ非カレハ享有ヲ許サ、凡私權ニ付テハ更ニ明文ナシ右ハ内國法ノ解釋上當然之ヲ認ムルモノナリヤ果シテ然ルニ於テハ外國人ノ員數ニ相當ノ制限ヲ付スルノ必要ナキヤ

○内國法ニ從ヒ設立シタル商事會社ニ外國人カ社員トシテ加入スル場合ニ土地所有權ノ關係上該外國人ノ員數ニ相當ノ制限ヲ付スルノ必要ナキヤ

内務關係

大藏内務通  
信、農商務  
關係

ルノ必要ナキヤ

○外國商事會社カ内國ニ支店ヲ設ケ登記ヲ為ス場合ニ登記事項ニ関シ一々本國當該官廳ノ證明書ヲ添付スル爲メ相當ノ規定ヲ設ケル必要ナキヤ

○外國人カ内國ニ於テ商事會社ヲ設立スルニ際ニ設立ノ免許ヲ要スルモノト否トヲ問ハス總テ其身元及財産等ニ関シ本國當該官廳ノ證明書ヲ内國當該官廳ニ提出セシムルカ如キ相當ノ規程ヲ設クルノ必要ナキヤ否ヤ

全上

○日獨條約議定書第二ノ不動產抵当權ハ不動  
產質權ヲ包含セサルヤ否ヤ但シ明治六年布  
告第十八号地所質入書入規則第十一條中書  
入ノ事項ハ右議定書ニ依リ條約國人ニ對シ  
テ中止セラル、ニ止マレテ以テ別ニ法律ノ  
改正ヲ要セサルヘキカ

○外國人ノ占有スル抵当權ノ目的タル土地ニ  
對シ第三取得者カ排除ヲ爲ス場合ニ外國人  
ハ土地ヲ所有スルヲ得サルヲ以テ新民法第  
三百八十四條ニ依リ增價競賣ヲ請求スル

コト能ハス即チ第三取得者ノ提出シタル金  
額ハ息ヲ廉價ナルトキトモ必ス承諾セザ  
ルヘカラザルノ不利アリ此等ハ別ニ救済ス  
ルノ必要ナキヤ否ヤ

○日獨條約第三條ノ代理人トハ代務人商業使  
用人代辦人等ヲ總括スルモノナリヤ若シ總  
括スルモノトスレハ同一代人ニシテ其權限  
上多寡不同ノ差ヲ生スヘシ依テ内國ニ居住  
セザル外國商人ノ代理人ノ權限ヲ一定ニ總テ  
本人ト同一ノ權利ヲ有セシムルノ必要ナキ

乎

○改正條約實施ノ際領事裁判ヲ決メ執行ニシテ方ニ着手シワ、アルモノ若ハ未タ着手セラレサルモノハ帝國裁判所ノ管轄ニ歸スルモノナルヤ否ヤ

○帝國裁判所ノ破産宣告ニシテ在外國ノ財産ニ關係アル場合及外國裁判所ノ破産宣告ニシテ在帝國ノ財産ニ關係アル場合ニハ商法中特別ノ規程ヲキテ以テ民事訴訟法第五百十四條、第五百十五條、第五百十七條ヲ適用スヘキヤ否ヤ

農商務省關係

○日獨條約中商號ノ保護ハ本條約批准交換ノ日ヨリ實施スヘキモノナリト云テ商法實施ノマテ時ニ之カ爲メニ規定ヲ設ケ保護ヲ爲サヘキ條約上差支ナキヤ

○日清條約第二十三條在清國日本人ニ關シ民事上身體ノ拘束ヲ要スル場合アルニ於テ特別ノ法律ニ依ラスシテ之ヲ爲シ得ルヤ否ヤ

○日英條約第十四條等外國脫船人引渡ノ手續ニ關シ相當ノ規定ヲ設ケルノ必要ナキヤ

○元年十二月布告富興行禁止方及刑法第二百六十二條並三十五年第二十九号布告富藏ニ関スル處罰方ハ單ニ内國ニ於テ興行シタル富藏ニ関スル制裁ニ止マリ外國富藏ニ関スル行爲ニハ適用スルヲ得サルヤ若シ適用ニ得サルモノトスレハ右ノ法文ヲ改正シテ外國富藏ノ賣買等ヲ禁止スルノ必要ナキヤ

○在留外國人ノ國籍身分及死生婚姻等一切ノ人事ニ関シ身分証明ノ爲メ且行政取締上ノ爲ニ戶籍登録ノ規程ヲ設クル必要ナキヤ

○外國人歸化法及國民分限得喪ニ関スル規程ヲ設クルノ必要ナキヤ

○外國人ニ関スル訴訟上殊ニ刑事訴訟ノ爲ニ少クモ控訴院及大市街地ノ裁判所ニ通譯官ヲ置ク必要ナキヤ

○訴訟關係人ニ對スル召喚及對過方ニ注意シ之ヲ改良スルノ必要ナキヤ

○民事訴訟法第八十八條、第九十二條ニ付テハ英、米、獨、等、其他各國ノ如キ改正條約ニ於テ司法取扱各般ノ事項ニ関シ内國人ト同様ノ

權利及特典ノ享有ヲ擔保セラレタル國民ハ  
訴訟費用保証ヲ立ツルノ義務ナク又訴訟上  
ノ救助ヲ求ムルノ權利ヲ有スルモ和蘭伯刺  
西見ノ如キ條約上右ノ規程ナキ國民ニ對シ  
テハ相互主義ニ依ルモノナリヤ

○日獨領事職務條約第三條日白領事職務條約  
第三條ニ依リハ領事官輕罪及違警罪ヲ犯ス  
トキハ拘留スルヲ得ス因テ右ノ場合ノ取扱  
方ニ関シ司法警察官ニ訓示スルノ必要ナキ  
ヤ

内務ニ關係

○日獨領事職務條約第十一條及第十四條並ニ  
日白領事職務條約第十條及第十四條中當該  
地方官廳及駐在國官廳トハ府縣廳又ハ郡市  
町村役場右ハ區裁判所ナルヤ豫メ之ヲ區別  
指定シ且ツ彼此交渉ノ細則手續等ヲ定メ之  
ヲ訓示スルノ必要ナキヤ

○日獨領事職務條約第十四條第二遺產處分開  
始等ノ廣告ニ関シ内國法律中相當ノ規定ナ  
シ因テ其手續及費用等ニ関シ特ニ規程ヲ  
設クルノ必要アルヤ否ヤ

内務關係

○日獨及日自領事職務條約中遺產ノ分ニ関スル規程ニ依リ獨、自兩國人ノ在檻囚徒懲治人及刑事被告人ノ死亡及刑死者並ニ護送囚徒ノ死亡又ハ行旅ノ病死者ノ死亡通知方及其携帶遺留品ヲ當該領事ニ引渡シ等ニ関シ新ニ規程ヲ設ケルノ必要ナキヤ

内務關係

○日獨領事職務條約第十四條第十步 該領事官到着ノ際帝國地方廳ニ於テ内國法律ノ規程ニ依リ着手ノ事項ハ其決了スルマテハ猶ホ内國法律ノ規程ニ依ルハキモノナルヤ又ハ本條第一以下各項ノ規程ニ依ルハキモノナルヤ

○日獨領事職務條約ニ依レハ在留獨逸人ノ後見人ハ獨逸領事ニ於テ命スルヲ以テ帝國裁判所ニ於テ在留獨逸人ニ及刑トモ治産ヲ禁ミタル場合ニ其宣告ヲ通知スルヲ要スヘシ因テ豫メ其手續ヲ規定スルノ必要ナキヤ

○獨逸領事職務條約第十六條第一項ノ仲裁ハ單ニ和



辭スルニ止リ當事者ハ不服ヲ申シテ更ニ出訴スルコト  
ヲ得ルヤ否ヤ若シ出訴ニ得ルトスレハ本國裁判所ニ  
於テ之ヲ管轄スヘキモノナルヤ又ハ破有地ノ裁判所ニ於  
テ管轄スヘキモノナルヤ

内務ニ關係 ○ 獨逸領事職務條約實施ノ際無籍外國人中獨  
逸ノ保護民ト認めヘキモノアルヤ否ヲ調査シ若シ  
アルニ於テハ右條約議定書ニ依リ其名簿ヲ獨逸  
政府ニ通知スヘキヤ

同上 ○ 日白領事職務條約第十四條第三項ノ場合ニ當  
該領事未タ遺産所在地ニ到達協同セザルトキハ

該遺産ハ當該地方官廳ニ於テ内國法律ニ從  
ヒ管理スヘキモノナルヤ否ヤ又當該領事官ニ於テ  
事故アリテ協同スルコト能ハス之ヲ當該地方官廳ニ  
通知スルトキハ該遺産管理權ハ當然地方官廳  
ニ歸スルヤ否ヤ

司法省提出調査項目

- 一 刑法
- 一 刑事訴訟法
- 一 刑事訴訟費用法
- 一 檢事及司法警察官職務心得(訓令)
- 一 民事訴訟法
- 一 婚姻事件、養子縁組事件及禁治産事件

二 関スル訴訟規則

一 民事訴訟費用法

一 民事訴訟用印紙法

一 執達吏規則

一 公證人規則

文部省

中學

○ 外國人ニ日本臣民ノ為ニ私立小學及其他普通教育

ニ関スル造營物等ノ設立ヲ認可スヘキヤ否ヤ

○ 外國人ノ設立スル學校内ニ於ケル宗教上ノ關係ニ就

テハ何等ノ規定ヲ設ケル必要ナキヤ

○ 外國人ニハ小學校令ノ義務ヲ課スヘキモナキヤ否ヤ

○ 居留地内外國人設置ノ各學校ニシテ小學校教科ヲ設

ケタル者ハ居留地制度撤去ノ後私立小學トシテ認

許スヘキヤ否ヤ若シ認許スヘカラストモハ其在學生

中學齡児童ノ就學義務ニ関シ如何ナル取扱ヲ為

スヘキヤ

○小中學等教授ノ為メ外國人ヲ聘スルノ必要アル  
ニ當リ正教員トシテ任用スルヲ得ヘキヤ又ハ雇員  
トシテ採用スヘキモノナルヤ但シ此ニ關スル資格ヲ  
定メ及取締法ヲ設クルノ必要ナキヤ

○外國人ニシテ内地ニ各種ノ事業ヲ起シ學齡中ノ児童  
ヲ徒弟トシテ雇ハルルニ當リ義務教育上外國人ヲ  
シテ保護者タル責ヲ負ハシムルノ必要ナキヤ但シ内  
國人タル傭主ニ對シテハ現時府縣知事ニ於テ使  
宜其要件ヲ定ムル制規ナルモ外國人タル傭主ニ責務

ヲ課スルニ於テハ一般均等ノ規程ヲ設クルヲ要スヘ  
シ

農商務省

○外國人ノ内國商事株式會社株式券ノ取得ハ改正條  
 約ニ於テ擔保セラレタルモノナランヤ若シ擔保シタルモノトスル  
 トキハ内國法律中特ニ外國人ニ株式ヲ持スル條項ハ  
 之ヲ廢シ會社總株主中外國人ノ取得スルヲ得ヘキ株式數  
 ヲ限定シ又ハ株式タル外國人ノ投票權及重役ト爲ルノ  
 權利ヲ制限スル等ノ方法ヲ設クル必要ナキヤ、但シ現  
 行法律中外國人ニ株式タルヲ持スルモノ左ノ如シ  
 一 取引所法律第十二條 二十六年法律第五号  
 二 鑛業條例第三條 三十三年法律第八十七号

一 砂鑛採取法第四條 二十六年法律第十号

○明治二十三年法律第七十六號獸醫免許規則及同年法律第三十二號蹄鉄工免許規則外國人ニモ適用シ内國人ト同様ノ免許証發シテ免状ヲ喫ハ條約實施以前既ニ免許セシ者ニ付テハ該發ヲ要セシテ更ニ免状ヲ下付シ又右兩規則トモ第二條中外國獸醫學校等ノ卒業證書ヲ有スル者ニ對スル特典ハ總テ之ヲ廢止スルヤ  
○明治二十八年法律第十号職虎胆附嶽獵法ハ之ヲ改正シ外國人ニ禁止スルノ必要ナキヤ

○農林業工業水産業鑛業等ノ範圍ヲ確定シ之

ヲ公示スル必要ナキヤ

○外國人ニハ農業ノ爲ニ土地ヲ賃借シ永小作權ヲ取得スルヲ許サルヤ否ヤ若シ之ヲ許サストセハ特ニ農業ヲ禁止スルノ必要ナキヤ

○林業ハ外國人ニ之ヲ営ムヲ禁スルヤ否ヤ又林產物ノ賣買例ハハ立木ノヲ、賣買シ永年期据置又ハ長期ノ搬出期限ヲ以テ契約スル等造林ニ類似スルモノニ對シ何如ナル取締ヲ要スルヤ

○日佛條約第三條工業ト手職業ト其範圍ヲ如何ニ定ムル

又牧畜養蚕等ノ農業ニ於ケル網元船元營業等ノ水  
産業ニ於ケル鑛物製鍊業ノ鑛業ニ於ケル如キ類ハ如何ニ  
之ヲ區別スルヤ

○牧畜養蚕水産鑛山ノ營業ハ全ク之ヲ外人ニ禁ムルヤ將  
ト一定ノ範圍ニ就テ制限スルヤ

○在留外國商工業者ハ同シク營業組合法ニ依ラシムルトキ  
ハ適當ナル改正ヲ加フル必要ナキヤ

○明治二十三年法律第十一号商業會議所條例ヲ五條商  
業者ノ資格ニ帝國臣民ノ文字ヲ又会社ノ資格ニ帝國臣民  
ノミヲ社員又ハ取締役トスルノ文字ヲ加フルノ必要ナキヤ

○株式組織ノ会社ニシテ其定款ヲ以テ株券ヲ外國人ニ讓  
渡スコトヲ禁止シタルモノアリヤ若シ之アリトスレハ條約上差  
支ナキヤ

○明治三十年法律ヲ四十八号生絲直輸出獎勵法ハ改正  
條約實施ノ日ニ至レハ外國人ニモ適用セラルヘキニ依リ右  
實施前之ヲ廢止シ別ニ同業組合ヲ組織セシメ之ニ補助金  
ヲ下付スル等ノ間接方法ニ改ムル必要ナキヤ

農商務省提出調査項目

一 工業條例ヲ設ケ工場ヲ整理シ及ヒ製造業主ノ職  
工徒弟ノ關係ヲ規定スル件

一 外人ノ保險業者ヲシテ同一ニ遵守セシムル為メ保  
險法中殊ニ生命保險ニ關スル取締方法ヲ規定ス  
ル件

一 外國度量衡ハ度量衡法ニ定メタル檢束ヲ加ヘスシ  
テ自由ニ放任シ未リタルニ依リ之ヲ取締法ヲ制定  
スル件

一 外國人ノ内地ニ於テ箇人若クハ内國臣民ト組合ヲ結



ヒテ商業ヲ管ムコト隨意ナルヲ以テ之ヲ檢束スルノ  
法律規則ヲ調査改正スルノ件

一 日英條約第三條ノ規定ハ英國人ハ中立人又ハ取引所仲  
買人如キ營業ヲ為スヲ得ルヤ否ヤノ解釋ヲ一定ス  
ルノ件

一 生絲直輸出獎勵法ハ條約實施後猶ホ繼續實施スル  
ヤ將廢止若ハ改正スルノ件

一 現行狩獵法第六條ハ改正條約實施後在留歐米國  
人ノ為ニ存置スルノ必要ヲ認メサルニ清國人ニ對シテ  
ハ遊歩規程ノ制限ヲ存続スルヤ否ヤ外務省ニ於テ

決定シタル上本條ノ存否ヲ定ムルノ件

一 森林原野ノ貸借ニ關スルノ件

一 林產物ノ賣買ニ關スルノ件

一 造林ノ目的トスル地上權ニ關スルノ件

一 外國人ニシテ博覽會、共進會、品評會等ヲ開設シ  
タルトキ景況ヲ報告セシムルノ件

一 外國人ニシテ共進會、品評會等ヲ開設シ又ハ審査長  
及審査官派遣申請ノ件

一 外國人ニシテ博覽會、共進會、品評會等、出品スルノ件

- 一 外國人貿易陳列館、出品及物品寄贈、件
- 一 外國人貿易陳列館標本、交換、貸借、讓渡、件
- 一 公共博覽會外國發明特許品保護、件
- 一 特許條例及施行細則改正、件
- 一 商標條例及施行細則改正、件
- 一 意匠條例及施行細則改正、件
- 一 工業權保護、關スル列國同盟會加入、件

通信省

○私設鐵道條例及軌道條例ニ依ル各社鐵道ハ外國人又ハ  
 內國法ニ依リ外國人ノミヲ以テ設立シタル会社ニ其敷設ヲ  
 許スヤ否ヤ又內國人ノ設立シタル鐵道会社ニ對シ外國人株式  
 取得ノ數並ニ投票權及重役ト爲ルノ權等ヲ制限スル必要  
 ナキヤ

○鐵道及汽船会社ニシテ其定款ヲ以テ株券ヲ外國人ニ讓渡  
 スコトヲ禁シタルモノアルヤ若シ之アリトスレハ條約上差支ナ  
 キヤ

○國內湖川運輸業及港内解船營業ハ外國人又ハ外國人設

立ノ会社ニ對シ一定ノ制限ヲナスヤ否ヤ  
○船舶乗組員外國人ノ數ヲ制限スル必要ナキヤ

左ノ諸布告及違犯ニ諸指令等ハ改正條約實施ノ目ヨ  
リ之ヲ廢止シ外國人中清國人ノ如キ居住及旅行ノ制限ヲ  
必要トスルモノハ特ニ之ヲ爲メ相當ノ規定ヲ設クルコト  
爲スヤ否ヤ

又右ノ外北海道ニ警備視察及開港開市場所在地府  
縣ニ於テ外國人ノ關ニ特ニ定メタル規定アリトスレハ地方  
官ニ訓示シ其存廢ニ關シ相當ノ處分ヲ爲サシムヘキヤ否ヤ  
○居留地外居住

一、外國人雇入節心得  
十年三月六日第廿七号布告

一、同上疑義三箇各府縣へ外務卿達 十年三月十四日

一、私雇外國人居留地外居留儀外務卿伺并太政大臣指令  
十年三月十五日伺十一月十日指令

一、官私雇外國人居留地外住居スル家内、家族又雇ニテサル  
外國人同居ヲ禁スル件外務卿ヨリ院省使へ通知  
九年三月二十日

一、同上ノ件内務省達 九年三月二十日内務省ニ第四十二号達

一、私雇外國人内地僑居ノ儀ニ付外務大臣ヨリ各府縣知  
事へ内訓 十四年九月廿九日

一、外國人諸學校入学ノ儀ニ付外務省へ達 七年三月十六日無号達

一、同上ノ件ニ付更ニ同省へ達 七年四月十二日無号達

一、留學外國人居留地外住居件史官ヨリ外務省へ通知  
六年九月二十八日

一、外國人幼年修業者居留地外寄留ノ件ニ付外務省上  
申并太政官指令 十年八月十八日指令

○ 遊歩規程

一、東京在留外國人遊歩規程 三年閏十月十二日布告

一、外國人遊歩規程内心得方ニ付同規程内管轄、藩

縣、達 三年閏十月(日)無号達

一、開港場外居住雇外國人遊歩規程地方廳ニ於テ適宜

取定方外務省、達 七年十二月二日無号達

。 外國人宿泊

一 外國人遊歩規程内止宿由出方 八年十月五日才百八十六号達

一 同上件内務卿ヨリ府縣へ達 八年十月十二日丙防省丙才六十九号達

一 外國人遊歩規程内旅館營業者ニテナル者ニテ外國人ヲ

宿泊セシムル件 十二年九月九日才四十七号達

一 旅行免状所持ノ外國人ヲ旅館營業者ニテナル者ニテ宿泊

泊セシムルヲ得ル場合 十二年十月九日才三十八号達

。 内地旅行

一 官私雇外國人内地旅行免状請願手續外務省ヨリ各府

縣へ達

十二年四月十四日外務省第三十一号達

一 公私雇外國人旅行免状ヲ受ケルハ 七年七月十日、八十七号

一 外人無免状ニテ旅行スル者處分方外務省ヨリ各

府縣へ達 七年四月十日外務省第三十号達

一 同上件件吏官ヨリ外務省へ復 七年八月十七日照會

一 御雇外人旅行申托則者處分方茨城縣同長太政官

指令 六年十二月十四日同七年一月十四日指令

一 外人内地旅行免状件外務省ヨリ北海道廳廳視

廳及各府縣へ訓示 廿二年二月三日

一 外委人遊步規程外、無免狀旅行取飾儀付

外務大臣ヨリ各府縣内訓 廿二年六月廿四日

一 英國臣民、一年以内期限内地旅行免狀交付件外務

大臣ヨリ各府縣知事及北海道廳長官内訓 廿七年九月四日

一 同件外務大臣ヨリ各府縣知事及警視總監へ通知

廿七年九月四日

一 同上旅行期日同大臣ヨリ警視總監各府縣知事へ通知

廿七年九月四日

一 瑞西人民、英國臣民同様許與、件外務省政務局長

ヨリ各府縣知事北海道廳長官及警視總監へ通知 廿七年九月四日

十月四日

一 帝國官衙准外國人ニ旅行免狀交付手續外務大臣

ヨリ内閣總理大臣各省大臣へ通知 廿七年十月四日

一 同上件同大臣ヨリ各府縣知事及警視總監へ通知

十月四日

一 海洋船舶先免狀規則中免狀所持外國人上陸

スル規程 廿七年十二月九日才三十七号布告

一 水先免狀所持外國人沿海河地ト雖モ上陸取違

交ル件 廿七年十二月二十日内務省才四十四号布告

一 外國船舶乗組外人上陸免狀下付ノ件外務卿ヨリ兵

庫大坂長崎新瀉函館開拓使(達)

○外國人之家屋地所貸渡

- 一 學校其他為雇入之居留地外之居留之外國人及公使館付屬書記官等之貸家賃地ノ件 七年八月二十日布告八十五号
- 一 同上之關於約定業內務省ヨリ地方官(達) 七年八月十日
- 一 同上約定業第森森改正ノ件內務省同並太政官指令 七年八月廿三日同二十日指令
- 一 同上公使館付屬員地所家屋賃業ノ件外務省同並地方內務省同並太政官指令 八年七月廿五日同八月十日
- 一 各國公使館付屬并官雇外國人居留地外借地ノ件大

○外國人雇入

- 一 私雇學校及師業務視察及其實況雇出方外務卿ヨリ各府縣知事(達) 十二年四月五日

○外國人之關於司法及行政

- 一 內國人ヨリ外國人ノ對立民事訴訟手續 八年五月七日司法省
- 一 同上手續中更定 九年九月二十日司法省甲申十二号布達
- 一 外國人取扱變更得依規則內務外務兩卿內達 (月日不詳)

一 司法總長察及規則附錄 七年九月廿八号公達

一 司法總長察官執務符中外國人ノ犯罪ノ案件 廿六年九月

一 警察上外國人取扱規則等内務省三票議方

十四年一月三十一日内務省七第五号

一 外國人、遵奉ス行政規則制定時外務省、

協議方 十四年十二月公達才百五号

一 御通牒、節外國人取扱方心得太政官ヨリ各府縣

知事令へ達 九年(月日不詳)

一 本邦在留朝鮮墨國及葡國人狩獵取締方外

務及農商務大臣ヨリ地方廳へ内訓 廿五年十一月一日不詳

一 外國人遊歩規程外銃獵取締方外務大臣ヨリ各府

縣知事へ訓示

廿年十月八日

廿年(月日不詳)

一同上三付再訓

。外國人、翻刻圖書

一 明治十一年内務省乙第九十号本邦有版

權、圖書外國人、翻刻ニ係ルモ、内國人

販賣禁止方



左ノ諸達類ハ開港場開市場所在地府縣ヨリ内務省ニ提出シタル意見書中改正條約實施ト共ニ廢止スヘキモノトシテ列記シタル件名ナリ

一、開港開市場外府縣廳ヨリ公務上在本邦各國領事(照會)義ハ開港市場ノ府縣知事ヲ經由スル件 十七年十二月外務卿代理由達

一、清國人内地旅行免狀ノ件 二十八年五月十一日送第  
三六号外務大臣内訓

一、條約未済國人内地旅行免狀ノ件 二十六年七月二十  
四日新展送第五七〇号外務大臣内訓

一、他官廳雇外國人兼傭ノトキ取扱方 八年八月  
第四百一十号達

一、外國領事ト往復スル書類字毎月外務省ニ進  
達ノ件 二十一年十月六日達第八四九号外務大臣申達

一、箱根熱海温泉行負数報告ノ件 十年九月八日付往  
第八十一号外務書記官通牒

一、外國人關係又ハ内外國人交渉ノ事件臨時内  
務大臣ニ報告ノトキ外務大臣ニ報告ノ有  
無記載ノ件 二十一年八月四日監第二五号警保局  
長照會

一、外國人ハ阿片賣渡手續 十一年十月坤衛第一九一  
五号達

一、外國人遊歩規程外通行ニ関スル件 六年四月外務  
省無号達

一、外國人旅行免狀ニ関スル件 八年七月内外務省達署  
第四十号

一、外國人内地旅行免狀請願ニ関スル件 十二年四月  
外務省達第一号達

一、外國人遊歩規程外通行心得ニ関スル件 二十一年六月  
内務大臣送第二号内訓

一、官私雇外國人旅行ニ関スル件 二十五年十二月外務省  
第二号達

一、官民雇外國人従者召連旅行ノ節免状各別渡  
方ノ件 八年内務省第百六十号達

一、外國人取締ニ関スル件 二十一年二月内務大臣第百二十  
三号訓示

一、同上 二十一年二月同上第百三十六号訓示

一、同上 二十一年十二月同上送第四号追訓

麴町區永田町

大隈總裁殿

秘

親展





法典調查會